

令和元年度 市民活動補助金交付事業 活動実績について

資料 5
No.14 別紙

令和元年度に市民活動補助金を活用し、様々な地域課題の解決に取り組んだ 6 団体の活動実績について、市民協働サポータークラブ^{※1}からコメントをいただきました。

※1 市民協働課で実施した人材養成講座「まちづくり人養成講座」を修了した「市民協働サポーター」を中心として組織した市民活動団体で、協働をコーディネートする中間支援団体

例年、市民活動補助金交付事業の活動実績については、公開成果報告会を行い、参加者の皆さまが市民目線で評価するワークショップを行っていましたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、中止となりました。

コメントは一部抜粋

① 特定非営利活動法人 ing “若年性認知症の本人・家族のつどい”



＜評価する点＞

- ・ 本人家族を交えての座談会、カフェにより当事者理解を深め、参加したいと思える場作りについての議論できる土台をつくることができた点
- ・ 行政、病院、地域包括、専門職、市民の連携を深め、今後の方向性をつかむことができた点
- ・ アンケートを実施され、改善につなげようとされている点
- ★計画で提起された地域課題をしっかりと分析し、当事者とともに集う場所や支援体制を構築し、コーディネートされたことは敬意を表します。

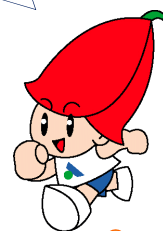
② TEDxAnjo 実行委員会 “TEDxAnjo2019”

＜評価する点＞

- ・ TED で決められたハードルの高いルールに従い、着実に実施され継続されている点
- ・ 新規参加の若いスタッフが増え、自律的に考え行動できるようになってきた点

＜改善点＞

- ・ 「成果」として、開催サイドの効果のみでなく、提起された地域課題（活動対象の偏り、一過性、アイデアの浸透、広がり、の無さ等）に対して、この活動でどのように解決されたかに触れられていない点
- ★形だけの一過性のイベントに終わってしまわないためにも理念に立ち返って振り返りをされることを期待します。



③ 暮らしのお金を学ぶ会みかわ “人生 100 年時代～夢を実現させるために次の一步を踏み出そう！～”



＜評価する点＞

- ・ 「市民活動に参加したいという思いがありながら、積極的に参加できない市民がいる」課題に対して「不安の見える化と不安への対策セミナー」という解決策で課題を解決されようとする創意工夫とチャレンジ精神がある点

＜改善点＞

- ・ セミナー受講計画人数 20 人と実績 6 人との間に大きな差異が発生した点
- ★市民活動の社会的な課題解決への貢献という点では、市民団体の財政基盤やキャッシュフローを支援していただけるとよいのではと思います。

④ グリーンそう・自然農ネット・NPO 法人森を再生する会・株式会社おとうふ工房いしかわ “ロハスな街づくり”

<評価する点>

- ・「安全な食糧の供給」は、地味で根気のいる取り組みではありますが、「ロハスな街安城」づくりが必要であることに気づかれた点
- ・1年間という短期間の間に22回と多くの講座を実施され、510人の参加者（理解者）を得られた点

<改善点>

- ・4団体の協働で事業を進められたことは素晴らしい取り組みであると思いますが、各団体の役割分担が分からない点
- ・計画と実績に大きな差異がある点

★是非「ロハスな街安城」を実現していただきますようご尽力ください。



⑤ イワカガミ・NPO 法人アルフィン・あんじょうプレーパーク “親子デイキャンプ「やんちゃKIDS プロジェクト in あんじょう」”

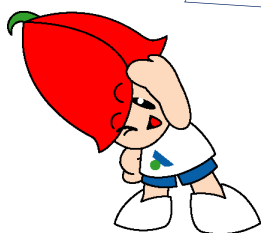
<評価する点>

- ・一つの目標に対して、複数の団体が連携して、それぞれの強みを活かして取り組みをされた点
- ・アンケートを実施し、しっかりとふりかえりをされている点
- ・受益者負担を適正に求めている点

<改善点>

- ・事業実績により得られた効果（成果）が、計画で提起された「解決したい地域課題（健常者、障がい者と分け隔てなくそれぞれの環境、個性を尊重できる社会での子育て支援）」に対して、どうアプローチされて解決を図ったかという視点での記載がない点

★年齢、個性の違いの中での外遊びの中から、自然遊びの効用を得られる機会の提供を是非、継続されることを切望いたしますので、ご尽力ください。



⑥ Social Capital Incline・川の会・NPO 法人育て上げネット中部虹の会・認定 NPO 法人愛知ネット “不登校の子と親の交流会「おこのみ会」”

<評価する点>

- ・解決したい課題であった「不登校の子と親が交流できる居場所」ができ、1年間という短期間に45回のイベントを実施され、延べ833人の参加者を得られた点
- ・本事業をきっかけに「安城市不登校・引きこもり支援ネットワーク」を発足させた点

<改善点>

- ・収支予算書と収支決算書に大きな差異が発生した点
- ・協働4団体間の役割分担が不明な点

★「補助金を受けなくても事業が成り立つ」よう考えていただくと共に、不登校の子と親の交流会の継続実施を切望しますので、ご尽力ください。

